

# 1 総 括

第1期アクションプランを平成28年度に策定してから、2年が経過いたしました。

アクションプランに定めるマネジメント方針に適合する平成29年度における個別施設の取組状況を整理すると下記のとおりとなります。

## (1) 公共施設マネジメントの取組状況

(金額は千円未満四捨五入)

### 公共施設(建物)に係るマネジメント

#### ◇公共施設(建物)延べ床面積の総量削減の取組

■使いやすさ、環境や防災への配慮など機能重視型の公共施設への転換

- 滝里湖オートキャンプ場ミズナラウッドデッキ改修(5,141千円)
- 市民会館大ホール冷房機器取替(18,684千円)
- 新城多目的研修センタートイレ簡易水洗化改修(6,156千円)
- 球技場芝生整備(75,600千円)
- 総合体育館床改修(21,600千円)
- 教職員住宅浴室・脱衣室改修(7,733千円)
- 芦別小学校・上芦別小学校扇風機設置(4,374千円)
- 芦別小学校・上芦別小学校エアコン設置(2,214千円)
- 芦別中学校電気暖房設備更新(13,360千円)
- 啓成中学校暖房自動制御機器更新(4,968千円)
- 芦別温泉スターライトホテルエレベーター改修(33,696千円)
- 星遊館実施設計業務委託(24,300千円)
- 子どもセンターつばさ電話交換機設備(2,387千円)
- 子どもセンターつばさ屋根トタンシーリング(972千円)
- 保健福祉施設すばる暖房給湯ボイラー機器(10,098千円)

計 231,283 千円

■規模の適正化や他施設との複合化等の検討を踏まえた大規模改修

- 旧消防庁舎改修(5,098千円)
- 頼城多目的研修センター改修(30,024千円)
- 頼城多目的研修センター歩行者通路造成・舗装(1,901千円)
- 公営住宅すみれ団地建替工事基本・実施設計業務委託(18,822千円)
- 公営住宅すみれ団地建替工事地質調査業務委託(4,180千円)

計 60,025 千円

■老朽化が著しく使用に耐えない施設の計画的除却

- 公営住宅頼城団地除却(34,787 千円)
- 旧頼城小学校教員住宅除却(19,948 千円)
- 旧緑幸研修センター除却(9,979 千円)
- 旧頼城多目的研修センター除却(6,934 千円)
- 駅前歓迎塔除却(2,430 千円)

計 74,078 千円

#### ◇長寿命化の取組によるライフサイクルコスト削減の取組

■予防保全の取組による耐用年数の延長

- 公営住宅ひばり第二団地(57-G1 棟)屋根葺き替え(11,880 千円)
- 公営住宅あかつき団地屋上防水(12,312 千円)
- 滝里湖オートキャンプ場コテージ等屋根塗装(3,996 千円)
- 総合体育館屋根防水(6,588 千円)
- 浄水場管理棟屋根防水補修(4,288 千円)
- あしべつ宿泊交流センター宿泊棟屋根トタン葺き替え(12,204 千円)

計 51,268 千円

## インフラに係るマネジメント

### ◇長寿命化によるコスト縮減と計画的・効率的な改修・更新の推進

#### ■長寿命化によるコストの縮減

- 市道区画線補修(2,754 千円)
  - 上芦別17号線舗装補修(5,476 千円)
  - さつき通舗装補修(8,856 千円)
  - 落辺本通舗装補修(7,830 千円)
  - 下水道管路施設調査清掃業務委託(7,074 千円)
- 計 31,990 千円

#### ■市民生活や経済活動が円滑に行えるインフラの維持

- 北4条1線道路改良(6,318 千円)
- 上芦別5条線道路改良(11,232 千円)
- 北3条2線道路改良(3,866 千円)
- 上芦別38線道路改良(5,724 千円)
- なまこ山線排水整備(4,644 千円)
- 東1丁目1線道路改良(20,304 千円)
- 北6条西2丁目12線道路改良(15,498 千円)
- 西1丁目3線道路改良(17,064 千円)
- 道道旭川芦別線江村沢橋配水管布設替その2(1,220 千円)
- 道道旭川芦別線配水管布設替(14,796 千円)
- 三又川河岸復旧(2,884 千円)
- 二股川河岸復旧(12,744 千円)

計 116,294 千円

#### ■橋りょう・上下水道の財政負担の平準化を目指した効率的な更新

- 上芦別5条線排水管布設替(2,106 千円)
- 道道旭川芦別線江村沢橋配水管布設替(3,186 千円)
- 北3条2線ほか1路線配水管布設替(3,078 千円)
- 東1丁目1線配水管布設替(9,169 千円)
- 北6条西2丁目12線配水管布設替(10,282 千円)
- 国道38号配水管布設替(15,433 千円)
- ことぶき通配水管布設替(18,230 千円)
- 上芦別3条線ほか1路線配水管布設替(9,061 千円)
- 上芦別37線配水管布設替(13,586 千円)
- 北5条東1丁目13線配水管布設替(17,388 千円)
- 三角橋架替(45,468 千円)

計 146,987 千円

## (2) 公共施設の現状

ここでは、アクションプランにおいて定めた公共施設マネジメント方針の対象とした表1に示す平成27年度末現在の本市の保有する公共施設が、公共施設マネジメントの取組によって、どのように変化したのかを検証します。

表1 対象施設一覧

(1) 建物	大分類	中分類	平成27年度		平成29年度		主な施設
			施設数 (棟)	延べ床 面積(m <sup>2</sup> )	施設数 (棟)	延べ床 面積(m <sup>2</sup> )	
①市民文化系施設	i 集会施設	ii 文化施設	11	4,686	10	4,672	各研修センター、生活館等
		ii 文化施設	2	3,624	2	3,624	市民会館等
②社会教育・学校教育系施設	i 図書館		1	1,355	1	1,355	図書館
	ii 博物館等		3	2,246	3	2,246	星の降る里百年記念館等
	iii 学校		15	25,481	15	25,481	小中学校
	iv その他教育施設		1	810	1	810	学校給食センター
③スポーツ・レクリエーション、公園施設	i スポーツ施設		10	13,383	9	12,749	青年センター、総合体育館等
	ii レクリエーション施設		15	3,088	15	3,088	各オートキャンプ場、道の駅等
	iii 保養施設		12	11,938	12	11,938	健民センター施設群等
	iv カナディアンワールド公園等		28	5,271	28	5,271	カナディアンワールド公園施設群等
④子育て支援、保健・福祉系施設	i 幼保・子ども園		1	771	0	0	上芦別保育園
	ii 幼児・児童施設		2	2,622	2	2,622	子どもセンターつばさ等
	iii 高齢者福祉施設		6	5,439	6	5,439	総合福祉センター、静和荘等
	iv 保健施設		1	685	1	685	保健センター
	v 高齢者保健福祉施設		1	4,185	1	4,185	すばる
⑤公営住宅	i 公営住宅		111	79,226	111	79,226	公営住宅15団地
	ii 改良住宅		134	45,517	128	44,251	改良住宅5団地
	iii 特定公共賃貸住宅		3	2,025	3	2,025	特定公共賃貸住宅1団地
⑥病院施設	i 病院施設		1	12,574	1	12,574	市立病院
⑦行政系、供給処理、その他施設	i 庁舎等		2	6,065	2	6,065	総合庁舎等
	ii 消防庁舎等		7	3,468	7	3,468	新消防総合庁舎、分団詰所等
	iii その他行政系施設		3	1,968	3	1,968	車両センター等
	iv 供給処理施設		2	965	2	965	ごみ処理センター等
	v その他施設		45	7,709	37	5,917	斎場、教職員住宅等
	合計		417	245,101	400	240,624	
(2) インフラ	大分類	平成27年度 主な施設と規模等	平成29年度 主な施設と規模等				
	①道路	市道総延長333km	市道総延長333km				
	②橋りょう	橋りょう数77橋	橋りょう数73橋				
	③上水道	管路延長195km、取水・浄水施設3施設、配水池7施設	管路延長195km、取水・浄水施設3施設、配水池7施設				
	④下水道	管路延長122km、マンホール内ポンプ所14箇所	管路延長122km、マンホール内ポンプ所14箇所				
	⑤公園	都市公園44箇所、普通公園15箇所	都市公園44箇所、普通公園15箇所				
	⑥その他	農業用水路2,840m、河川護岸	農業用水路2,840m、河川護岸				
(3) その他遊休施設などの普通財産等	旧小学校、旧保健センター等(50棟17,867m <sup>2</sup> )	旧小学校、旧保健センター等(49棟18,532m <sup>2</sup> )					

※建物は、公共施設白書で把握した建物のうち、50m<sup>2</sup>未満の建物を除き、新消防総合庁舎を含みます。

① 建物（その他遊休施設などの普通財産等を含む）

本市が保有する平成 29 年度末の公共施設（建物）は、建物総数が 449 棟で、延べ床面積の合計は 25 万 9,156 ㎡となっています。平成 28 年度末と比較すると、緑泉町地区の旧教職員住宅等の老朽化の著しい不用品施設の除却及び平成 28 年度末で閉園した旧上芦別保育園を売却したことにより、14 棟 3,365 ㎡が減少しています。

また、用途別面積の状況は図 1 に示すとおり、公営住宅が 48.4%と総面積が最も大きく、次にスポーツ・レクリエーション、公園施設で 12.8%、3 番目に社会教育・学校教育系施設の 11.5%となっています。

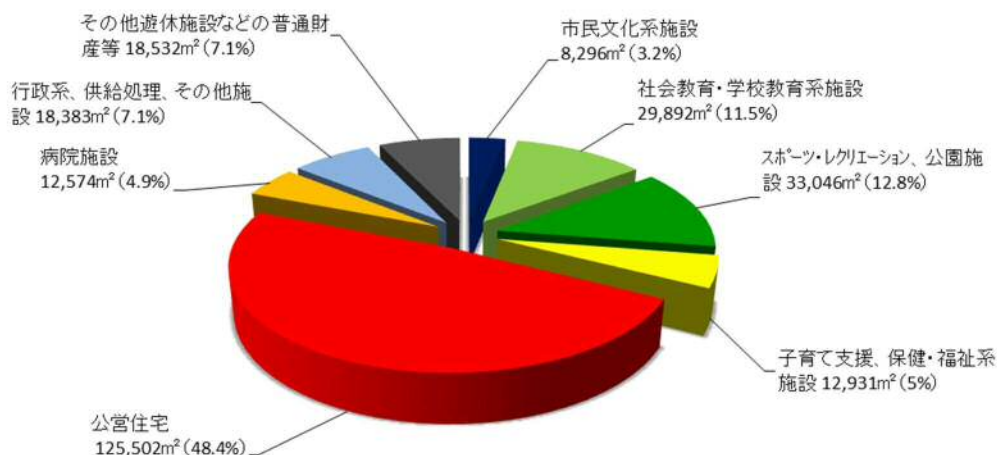


図1 建物の用途別面積の状況【平成29年度末現在、50㎡以下の建物を除く】

次に、経過年数別の建物の状況は、表 2 に示すとおり、昭和 62 年度以前に建てられた築 30 年以上経過した建物が 328 棟で、延べ床面積は約 16.0 万㎡と全体の 66.4%を占めています。特に遊休施設などの普通財産等を除く、現状、市民利用に供している公共施設においては、築 30 年以上経過した建物は、延べ床面積で約 16.2 万㎡、66.7%に上っています。

平成 29 年度においては、築 24 年以上経過した旧頼城多目的研修センター等 13 棟あわせて 2,594 ㎡の建物を除却したほか、旧上芦別保育園 1 棟の売却により 771 ㎡、あわせて 3,365 ㎡の面積が減少しており、保有する建物全体の 1.3%が減少となっています。築 30 年以上経過した建物は、アクションプランの表 2 で示している平成 26 年度末数値 147,186 ㎡と比較すると、面積で 20,704 ㎡の増加、比率では平成 26 年度の 56.4%から 8.4 ポイント上昇しており、建物全体の老朽化の度が高まっています。

また、築 20 年以上 30 年未満の建物は、延べ床面積で約 5.2 万㎡、全体の 20.1%を占めており、現状のまま経過すると今後 10 年間で築 30 年を超える建物は、延べ床面積が約 22.0 万㎡で、全体に占める割合は 84.9%に上ることとなります。

平成 28 年度からの建物の異動状況は、表 3 のとおりであり、頼城多目的研修センターについては、平成 28 年度末に廃止した旧青少年会館を改修して移転統合し、旧頼城多目的研修センターは除却しました。

なお、市民一人当たりの建物延べ床面積の推移は表 4 に示すとおりで、平成 29 年度末は、18.71 ㎡/人で、前年度に比べて 0.34 ポイント増加しています。このことは、総じて人口減少が進んでいることによる影響が大きいものと考えられます。

表2 経過年数別建物の状況

(単位:棟、㎡、%)

区分	経過年数 (建設年度)		10年未満 (H20~29)		10年以上 20年未満 (H10~19)		20年以上 30年未満 (S63~H9)		30年以上 (~S62)		合計		
	棟数	面積	棟数	面積	棟数	面積	棟数	面積	棟数	面積	棟数	面積	
①市民文化系施設							2	1,166	10	7,130	12	8,296	
i 集会施設							2	1,166	8	3,506	10	4,672	
ii 文化施設									2	3,624	2	3,624	
②社会教育・学校教育系施設							2	3,827	18	26,065	20	29,892	
i 図書館									1	1,355	1	1,355	
ii 博物館等							1	1,499	2	747	3	2,246	
iii 学校							1	2,328	14	23,153	15	25,481	
iv その他教育施設									1	810	1	810	
③スポーツ・レクリエーション、公園施設	1	219	13	9,272	34	12,287	16	11,268	64	33,046			
i スポーツ施設			5	8,324	2	254	2	4,171	9	12,749			
ii レクリエーション施設			7	661	4	1,421	4	1,006	15	3,088			
iii 保養施設	1	219	1	287	3	5,495	7	5,937	12	11,938			
iv カナディアンワールド公園等						25	5,117	3	154	28	5,271		
④子育て支援・保健・福祉系施設			2	2,622	2	5,634	6	4,675	10	12,931			
i 幼保・子ども園								0	0	0	0		
ii 幼児・児童施設			2	2,622						2	2,622		
iii 高齢者福祉施設					1	1,449	5	3,990	6	5,439			
iii 保健施設								1	685	1	685		
iv 高齢者保健福祉施設					1	4,185				1	4,185		
⑤公営住宅	12	7,803	9	15,605	16	15,486	205	86,608	242	125,502			
i 公営住宅	12	7,803	9	15,605	13	13,461	77	42,357	111	79,226			
ii 改良住宅								128	44,251	128	44,251		
iii 特定公共賃貸住宅					3	2,025				3	2,025		
⑥病院施設								1	12,574	1	12,574		
⑦行政系、供給処理、その他施設	5	2,793	4	888	6	3,203	36	11,499	51	18,383			
i 庁舎等								2	6,065	2	6,065		
ii 消防庁舎等	1	2,363						6	1,105	7	3,468		
iii その他行政系施設						1	1,458	2	510	3	1,968		
iv 供給処理施設			1	591	1	374				2	965		
v その他施設	4	430	3	297	4	1,371	26	3,819	37	5,917			
合計	18	10,815	28	28,387	62	41,603	292	159,819	400	240,624			
構成比	4.5	4.5	7.0	11.8	15.5	17.3	73.0	66.4	100.0	100.0			
その他遊休施設などの普通財産等					13	10,461	36	8,071	49	18,532			
i 遊休施設					2	5,272	5	1,988	7	7,260			
ii 貸付施設					10	4,788	19	4,061	29	8,849			
iii 除却施設								9	1,175	9	1,175		
iv その他維持する施設					1	401	3	847	4	1,248			
構成比	0.0	0.0	0.0	0.0	26.5	56.4	73.5	43.6	100.0	100.0			
合計	18	10,815	28	28,387	75	52,064	328	167,890	449	259,156			
構成比	4.0	4.2	6.2	10.9	16.7	20.1	73.1	64.8	100.0	100.0			

※ 平成29年度末現在。50㎡未満の建物を除く。

表3 建物の異動状況

	平成28年度				平成29年度				延べ床面積 (㎡)
	施設名	施設区分		年度末 状況	施設名	施設区分		年度末 状況	
		大分類	中分類			大分類	中分類		
1	頼城多目的研修センター	①市民文化系施設	i 集会施設		旧頼城多目的研修センター	①市民文化系施設	i 集会施設	除却済	264
2	緑幸研修センター	①市民文化系施設	i 集会施設	年度末 廃止	旧緑幸研修センター	①市民文化系施設	i 集会施設	除却済	384
3	青少年会館	③スポーツ・レクリエーション施設、公園施設	i スポーツ施設	年度末 廃止	頼城多目的研修センター	①市民文化系施設	i 集会施設	改修工事 済	634
4	上芦別保育園	④子育て支援・保健・福祉系施設	i 幼保・子ども園	年度末廃止、 子どもセンターへ統合	旧上芦別保育園	その他遊休施設などの普通財産等	i 遊休施設	売却済	771
5	頼城団地49-1 (1~4号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅		頼城団地49-1 (1~4号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅	除却済	211
6	頼城団地49-2 (5~8号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅		頼城団地49-2 (5~8号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅	除却済	211
7	頼城団地49-3 (9~12号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅		頼城団地49-3 (9~12号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅	除却済	211
8	頼城団地49-4 (13~16号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅		頼城団地49-4 (13~16号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅	除却済	211
9	頼城団地49-5 (17~20号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅		頼城団地49-5 (17~20号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅	除却済	211
10	頼城団地49-6 (21~8号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅		頼城団地49-6 (21~24号)	⑤公営住宅	ii 改良住宅	除却済	211
11	職員住宅 ひばり団地-市共 51-2	⑦行政系、供給処理施設、 その他施設	V その他施設		職員住宅 ひばり団地-市共 51-2	その他遊休施設などの普通 財産等	iii 除却施設		133
12	職員住宅 ひばり団地-市共 52①	⑦行政系、供給処理施設、 その他施設	V その他施設		職員住宅 ひばり団地-市共 52①	その他遊休施設などの普通 財産等	iii 除却施設		133
13	職員住宅 ひばり団地-市共 52②	⑦行政系、供給処理施設、 その他施設	V その他施設		職員住宅 ひばり団地-市共 52②	その他遊休施設などの普通 財産等	iii 除却施設		133
14	職員住宅 ひばり団地-市共 54①	⑦行政系、供給処理施設、 その他施設	V その他施設		職員住宅 ひばり団地-市共 54①	その他遊休施設などの普通 財産等	iii 除却施設		133
15	職員住宅 ひばり団地-市共 54②	⑦行政系、供給処理施設、 その他施設	V その他施設		職員住宅 ひばり団地-市共 54②	その他遊休施設などの普通 財産等	i 遊休施設		136
16	職員住宅 あかつき団地-市共 55	⑦行政系、供給処理施設、 その他施設	V その他施設		職員住宅 あかつき団地-市共 55	その他遊休施設などの普通 財産等	i 遊休施設		552
17	職員住宅 あかつき団地-市共 57	⑦行政系、供給処理施設、 その他施設	V その他施設		職員住宅 あかつき団地-市共 57	その他遊休施設などの普通 財産等	i 遊休施設		286
18	職員住宅 あかつき団地-市共 58	⑦行政系、供給処理施設、 その他施設	V その他施設		職員住宅 あかつき団地-市共 58	その他遊休施設などの普通 財産等	i 遊休施設		286
19	旧教職員住宅 緑 泉地区51、52号	その他遊休施設などの普通 財産等	iii 除却施設		旧教職員住宅 緑 泉地区51、52号	その他遊休施設などの普通 財産等	iii 除却施設	除却済	136
20	旧教職員住宅 緑 泉地区53、54号	その他遊休施設などの普通 財産等	iii 除却施設		旧教職員住宅 緑 泉地区53、54号	その他遊休施設などの普通 財産等	iii 除却施設	除却済	136

平成28年度				平成29年度					
施設名	施設区分		年度末 状況	施設名	施設区分		年度末 状況	延べ床 面積 (㎡)	
	大分類	中分類			大分類	中分類			
21	旧教職員住宅 緑 泉地区55、56号	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設		旧教職員住宅 緑 泉地区55、56号	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設	除却 済	136
22	旧教職員住宅 緑 泉地区58、59号	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設		旧教職員住宅 緑 泉地区58、59号	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設	除却 済	136
23	旧教職員住宅 緑 泉地区72、73号	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設		旧教職員住宅 緑 泉地区72、73号	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設	除却 済	136
24	旧教職員住宅 西 芦別地区60、61号	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設	除却 済					136
25	旧教職員住宅 西 芦別地区62、63号	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設	除却 済					136
26	旧頼城売店	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設	除却 済					123
27	旧上芦別共同浴 場	その他遊休施 設などの普通 財産等	iii 除却施 設	除却 済					52

※ 平成29年度末現在

表4 市民一人当たり建物延べ床面積の推移

区分 年度	年度末 人口 (人)	述べ床面積(㎡)			市民1人当たり面積(㎡/人)		
		公共施設	遊休施設等 の普通財産	合計	公共施設	遊休施設等 の普通財産	合計
平成26年度	15,208	242,738	17,867	260,605	15.96	1.18	17.14
平成27年度	14,769	245,101	17,867	262,968	16.60	1.21	17.81
平成28年度	14,288	245,101	17,420	262,521	17.15	1.22	18.37
平成29年度	13,855	240,624	18,532	259,156	17.37	1.34	18.71



## ② インフラ

本市が管理する平成 29 年度末におけるインフラの状況について、アクションプラン策定時に用いた平成 26 年度末の数値と比較することにより、アクションプランに基づく取組について検証することとします。

道路については、表 4 に示すとおりで、一般道の延長が約 332 k m、面積は約 230.7 万㎡となっています。平成 26 年度末と比較すると延長が 1.3 k m 減少していますが、毎年度必要に応じて、市道の認定・廃止を実施しています。

なお、自転車歩行者道については、延長及び面積に増減は生じていません。

表5 道路の現状

区分		延長(m)	面積(㎡)
一般道	1級市道	70,251	610,314
	2級市道	81,591	595,708
	その他の市道	179,694	1,100,539
	合計	331,536	2,306,561
自転車歩行者道		1,620	6,201

橋りょうについては、表 6 のとおりで総数は 73 橋で、平成 26 年度末の数値と比較すると 4 橋減少していますが、その減少した 4 橋は、道路構造物として管理することとなったため減少したものです。

建設後 50 年を経過した老朽化橋りょうは、前年度から 1 橋減少の 10 橋となっており、全体の 13.7% を占めていますが、一方で、常磐町地区の三角橋の架け替えを行うなど老朽化した橋りょうの安全確保の取組も進められています。

表6 規模別・経過年数別橋りょうの現状

(単位: 橋)

区分	経過年数						計
	10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上 50年未満	50年以上 60年未満	
5m未満	2	1	0	3	1	1	8
5～15m未満	1	4	5	6	5	3	24
15m以上	0	6	10	9	10	6	41
合計	3	11	15	18	16	10	73

上水道については、表 7 に示すとおりで、導水管、送水管及び配水管を合わせた延べ延長は約 195 k m で、平成 26 年度と比較すると 104.13m 増加しています。また、総延長 195 k m のうち、法定耐用年数の 40 年に対して 30 年以上経過している管路の割合は 38% で、平成 26 年度と比較して、6.7 ポイント上昇しています。

また、このうち 40 年以上経過した管路の延長は平成 26 年度の 9.15% から 11.70% と 2.55 ポイント上昇しています。

なお、管路以外の芦別浄水場や上芦別配水池、新城滅菌池及び配水地についても、老朽化が進んでいますが、適切な維持管理と計画的な設備の更新などにより、安定した上水の

供給を維持しています。

下水道については、汚水管が約 114 k m、雨水管が約 8 k m、マンホール内ポンプ所が 14 箇所であり、施設設備については、平成 26 年度と比較して増減は生じていません。また、管路施設の調査、清掃業務を委託するなど、適切な維持管理に努めています。

表7 上水道施設の現状

○管路 (単位:m)

管路	区分	経過年数別の管路延長					合計
		10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上	
導水管	芦別浄水場			27.00	53.40		80.40
	西芦別浄水場			239.80			239.80
	新城取水塔			554.06		1,488.94	2,043.00
送水管	上芦別配水池					2,741.00	2,741.00
	旭配水池				3,495.65		3,495.65
	西芦別配水池			335.00			335.00
	新城配水池			1,122.00		378.00	1,500.00
配水管	上芦別配水区	18,403.83	23,712.63	34,768.72	47,068.83	16,972.36	140,926.37
	旭配水区	531.31	2,901.44	7,265.26	29.00		10,727.01
	西芦別配水区		1,129.54	29,172.17			30,301.71
	新城配水区	845.16	34.54	106.00	629.79	1,266.75	2,882.24
	合計	19,780.30	27,778.15	73,590.01	51,276.67	22,847.05	195,272.18
	構成比	10.13%	14.22%	37.69%	26.26%	11.70%	100.00%

○施設

施設名	規模・能力	建設年	経過年数	施設名	規模・能力	建設年	経過年数
芦別浄水場	10,000m <sup>3</sup>	S48年	45年	旭配水池 No.2	200m <sup>3</sup>	H18年	11年
上芦別配水池 No.1	700m <sup>3</sup>	S32年	61年	西芦別浄水場	2,094m <sup>3</sup>	H11年	18年
上芦別配水池 No.2	1,200m <sup>3</sup>	S32年	61年	西芦別配水池	1,200m <sup>3</sup>	H11年	18年
上芦別配水池 No.3	1,600m <sup>3</sup>	S48年	45年	新城減菌池	3m <sup>3</sup>	S45年	48年
旭配水池 No.1	320m <sup>3</sup>	H3年	26年	新城配水池	77m <sup>3</sup>	S45年	48年

公園については、表 8 のとおり、都市公園が 44 箇所、普通公園が 15 箇所（うち上芦別公園が重複）の合計で 59 箇所あり、平成 26 年度と変更はありませんが、そのうち供用開始後 30 年以上経過した公園数は全体の 71.2%を超えており、平成 26 年度の 64.4%から 6.8 ポイント上昇しており、30 年以上経過した公園の面積は約 78 万 5 千 m<sup>2</sup>で、全体の 50.8%を占めています。

公園は、利用者の安全を確保するため、適切な維持管理と点検に努めるほか、利用者の少ない公園の老朽化した遊具の撤去など利用実態にあわせた見直しを進めています。

表8 公園の現状

(単位:箇所、㎡、%)

区分	箇所数	面積	経過年数										
			10年未満		10年以上 20年未満		20年以上 30年未満		30年以上 40年未満		40年以上		
			箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	箇所数	面積	
都市公園	街区公園	37	119,460			3	7,665	5	12,459	15	46,400	14	52,936
	近隣公園	4	56,586					3	43,730	1	12,856		
	運動公園	1	212,499			1	212,499						
	風致公園	1	49,622									1	49,622
	総合公園	1	206,390									1	206,390
	計	44	644,557			4	220,164	8	56,189	16	59,256	16	308,948
普通公園	15	899,514			3	464,242	2	18,906	4	36,982	6	379,384	
合計	59	1,544,071			7	684,406	10	75,095	20	96,238	22	688,332	
構成比					11.9	44.3	16.9	4.9	33.9	6.2	37.3	44.6	

このほかのインフラとして、農業用水路の芦別北部かんがい施設がありますが、平成26年度との変更は生じていません。

## 2 個別施設の現状

ここからは、個別施設の現状について記載しています。

建物については、基本情報として、棟ごとに建築年度、主体構造、経過年数や延床面積等を記載しているほか、当該施設に係る費用の総体となる行政コストや利用状況など平成29年度の状況について記載しています。

インフラについては、道路や水道管路など1路線ごとに表記することが困難なことから、基本情報の記載は省略し、インフラの種別ごとの行政コスト等の平成29年度の状況を記載しています。インフラに係る基本情報は、8～9頁をご参照ください。

なお、個別施設の現状をご覧になるにあたって、記載項目の定義や設定根拠など、下記の解説をご確認ください。

### 【解説】

#### 1 基本情報について

##### ◇耐震基準

「旧」・・・昭和56年6月1日以前の旧耐震基準に基づき建てられた施設

「新」・・・昭和56年6月1日以降の新耐震基準に基づき建てられた施設

##### ◇耐震改修

旧耐震建築物において耐震改修が義務付けとなる施設

「○」・・・耐震改修済

「×」・・・耐震未改修